

小学生の防災意識を高めるための避難訓練はどのようなものか

3407A

I 序論

・東日本大震災から10年が経ち、震災を知らない子供たちが増えている。
・時間の経過に伴い防災意識の低下が問題視されている。
→「小学生の防災意識を高める避難訓練」はどのようなものかを考えた。

II 仮説

小学校で行われる避難訓練は回数が多いが、質が悪いため小学生たちに応用力が身につかないのではないか。

仮説: 普通の避難訓練を行うよりも、伝承館や模擬体験などを用いた方が伝わりやすい。

III 本論

① 気仙沼市東日本大震災伝承館

災害時に避難行動を行う上で大切なことは『感覚』
→実際に体験してみないと分からない

感覚を養うためのイベントを
夏休みや防災の日に行っている

↓
行っている月は多いが、
行っていない月は少ない

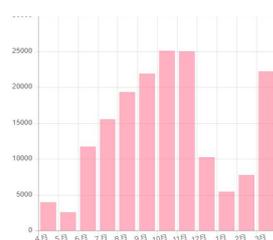


図: 令和2年度伝承館利用者数

↓
偏りが大きい

② 地震の模擬体験

小学生を対象に震度7の地震の模擬体験を行った。

↓
「怖い」「良い経験になった」という感想だった。

IV 結果・まとめ

○ 結果

・伝承館のイベントに親子で行くことによって学ぶことができる。
・模擬体験を行うことで実際に近い形の感覚をつかむことができる。

○ オリジナル避難訓練!!

1. 避難訓練や地震の模擬体験を行う
2. 伝承館に行く
3. 最初に行った避難訓練と地震の模擬体験を行う



防災意識を高められる

V 課題

- ・オリジナル避難訓練を実施する。
- ・伝承館の存在をたくさんの人に知ってもらおう。
- ・学校や地域で実施しやすい環境を作る。
- ・大人の人にも防災意識を高めてもらおう。

参考文献・協力いただいた方

・気仙沼東日本大震災伝承館 S様

・「地震が起きた時の行動を学ぶ児童が震度7の揺れを体験」<https://news.yahoo.co.jp>

